

私の祖母

只見町立只見中学校 二年 星 菜織

私の祖母は、明和中学校に通っていたそうです。この写真は、昭和二十九年明和中学校卒業式の写真です。祖母のクラスは、生徒が七十九人いたそうです。部活(クラブ)はバレー・野球・音楽部の三つがあり、祖母は音楽部に入ったそうです。部活に入らない人もいて、クラスで入る人は半分からいだったそうです。部活に入らない人は、「家の手伝い」をしなくてはならないため、帰らないといけなかったそうです。今とは違って、昔の人は子どものうちから働いたりするのがあたりまえだったそうです。今の私たちは、

昔の人たちとは違い、子どものうちから「働く」ということは、めったにありません。これを聞いて私は昔の人は苦勞してたんだなあと改めて感じました。
夏休みには、よく川遊びをしていたそうです。そのころはプールがなかったため、いつも、みんなで遊びに行き、魚をとったり、泳いだりしたそうです。冬休みには、スキー場がなかったため、雪の積もった所で登り、ただまっすぐ滑る、ということしかできなかったそうです。
祖母の中学校生活での、一番の思い出は、「修学旅行」だそうです。新潟県に行き、船に乗ったり、買い物をしたりしたそうです。一年生のころから、ずっと修学旅行に行きたくて、三年生の始めのころは、待ちきれないほど楽しかったですと言っていました。



昭和29年度明和中学校卒業記念(第8回)

昔は、今より古いものを使っていたり、働かされたり、色々大変でとても苦勞したんだと思います。昔にあったことを聞くうちに、私たちは、幸せなんだなあと改めて感じられます。なので、これからはもっとありがたみをもって、感謝の気持ちを忘れずに幸せに生きていきたいなと思います。

取材ノート

祖母：星 友枝さん
(昭和十四年生 七十八歳)
孫：星 菜織さん
(平成十四年生 十五歳)
[只見中三年]



Q：楽器は、何を担当していたのですか？

友枝さん：楽器なんて、あの頃笛もハーモニカも誰も持っていない。何も無かった時代だ。貧乏で買ってもらえない。今の子は全員部活やっているけど、家の手伝いがあったから帰らなければならぬ。中学終わると嫁支度だから、百姓覚えて、針仕事覚えて……あの頃みなそうなんだよ。

Q：音楽部ではどんな歌を歌ったのですか？

友枝さん：教科書にある「塙生の宿」とかなあ……。

Q：夏休みは、川遊びをしていた友枝さん：川遊び、なにほどおもしろいんだか。同級生の女の子近所に六人もいたから「川さ行ぐべえ、川さ行ぐべえ」ってな。

Q：みんなで水着を持って。友枝さん：水着なんてあるわけあんめや、パンツ一枚。ハヤチユウハン(早飯)で行ってな。人來ないうちにカジカ獲んなんねえがら。カジカがいつばいいんだあ。

Q：カジカはどうやって獲ったのですか？

友枝さん：手ぬぐいをな、端と端を結んで、石のところで構えていて足で追って引き上げた。それがおもしろくてやあ。夕飯のおかずになるしなあ。一人二十五匹ぐらい獲れた。トゲがあったバジヨも獲れた、これが美味いんだ。

Q：修学旅行がとても楽しかったです。

友枝さん：そりやそうたわな、どこさも行つたことねえがら。十三講参りで柳津にいったことはあった。祭りでもねえのに、こんなににぎやかなところがあるのかと思つた。新潟に行くなんて外国に行くのと同じ。デパートに初めて行つた。たいした物がいっぱいあつてな。兄弟が九人もいたから、親は旅費の工面も大変だった。

菜織さん：高校では、国語とか数学とか教科書は何があつたの？

友枝さん：日本史、英語もあつたよ。就職しなくて普通科に行つて郵便局に勤めた。

写真・文責：菅 敬浩

奥会津の植物

〈ブナの花〉

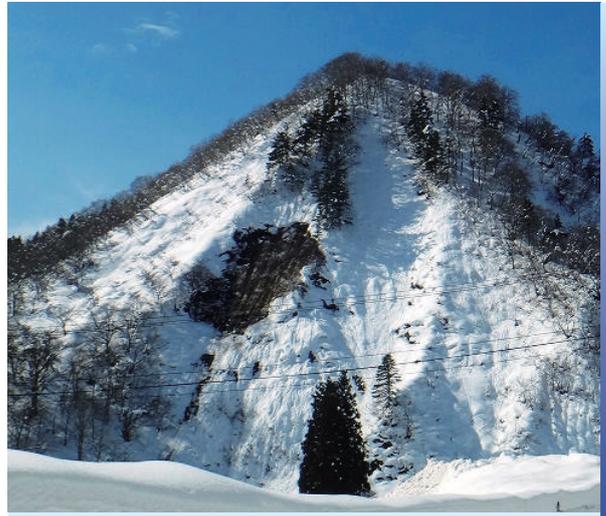
写真・文：新国 勇

ライトグリーンにかがやくブナの新緑は格別。しかし開葉とともに咲くブナの花は知られていない。枝先に突き出ているのが雌花で、赤いめしべが見える。枝にぶらさがっているのが雄花。葯が開いて花粉を散らしはじめている。



写真・文責：菅 敬浩

春を告げる雪崩



「ナデ（雪崩）こけたな！」「ふくろうも啼いたぞ」
雪の国の住人は、春の兆しに敏感だ。山の一面が雪崩れて地肌を見せると、待ち続けた季節の到来を知る。雪の重苦しさを脱いだ空の青は、早春を謳う喜びの青。

野山で遊ぶ

〈堅雪わたり〉



昼間に融け始めた雪が堅く締まった朝、深い雪原は自由自在に歩き回れる楽しい広場になる。キックキックトントンと動物の足跡を追いながら影絵を作る。凜と晴れた朝のつかの間の雪上散策。

暮らしの道具

写真・文 竹島善一



笠

山肌の雪も残りわずか。待ちかねた春がやって来た。お年寄りが外へ出てくる足取りも人の影も大地に確かである。なんといっても陽光に力がある。笠はこれからの必需品だ。陽をさえぎり雨をしのいで、人の動きに何のさわりも与えない。

人も自然も春の喜び一杯だ。

(昭和五十六年四月 南会津町南郷)

奥会津の食材と料理



雪下アサツキの
酢味噌和え

雪の下から掘り出したアサツキは、芽を出したばかりでまだ5、6センチほどだが、冷たい土の中で蓄えた糖度は高い。雪の中で春を先取りして食すことのできる、山菜の一番乗りだ。独特の香味とシャキシャキした食感は、この時期一番の贅沢。

奥会津の鳥 〈シジュウカラ〉 写真・文：新国 勇



頬が白く見えるので奥会津地方ではフウジロという名前をもつ。フウとは頬のこと。ご本家のホオジロはホオジロ科の野鳥だが、こちらのほうがホオジロと呼ぶにふさわしい。おなじ仲間のコガラ、ヒガラ、ヤマガラは山地に一年じゅう生息し山国暮らしをしているが、この鳥だけは都会に進出し、いまや銀座に住むものまでいる。

Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「おもしえ」

ヒント：P2.「聞き書き百選」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で3名様に、南会津町館岩の「木製お椀」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2018年3月25日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。 ※クイズの答えは次号104号で発表いたします。



◎102号「ワボレ」の答え：穴

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



- 日本の古きよき文化が残っている奥会津を、訪れたくなる内容でした。(茨城県 K.Wさん)
- 102号の表紙よかったです。雪に閉ざされた冬を惜しまず仕事する手わざの数々。奥会津で目にする景色は人の心を惹きつける魅力がありすぎます。(仙台市 K.Tさん)
- 「奥会津だより」、手にする度に奥会津の風俗に触れることができ、たくさんの発見があります。(群馬県 I.Aさん)
- 奥会津の生き物の写真で、ホンドギツネが足跡を一直線に残すことや、果実などを食べることを知り、驚きました。(埼玉県 I.Hさん)
- 思いがけず当たった「ミニぞうり」バッグに下げたお守りにしています。(柳津町 S.Yさん)
- 102号表紙に添えられたことばの美しさとの確さ、心が洗われました。(さいたま市 I.Sさん)

奥会津だより
定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

奥会津振興センターからのお知らせ

<奥会津の情報を SNS で絶賛発信中!! >

奥会津振興センターも「歳時記の郷 奥会津」として、SNS (フェイスブック、インスタグラム) で奥会津振興センター参加のイベントや奥会津の絶景を発信しています。

・ Facebook (フェイスブック)

アドレス <https://www.facebook.com/okuaizunet/>

・ Instagram (インスタグラム)

アドレス <https://www.instagram.com/okuaizu/>

奥会津イベント情報

4月~5月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
4月1日(日)	ヒメマス釣り解禁	金山町	沼沢湖	沼沢漁業協同組合長 鈴木 茂 ☎090-7066-6078
	溪流釣り解禁		只見川及びその支流	只見川漁業協同組合金山支部長 馬場 清次 ☎0241-56-4252
	溪流釣り解禁(鮎を除く)	館岩地域	野尻川及びその支流	野尻川非出資漁業協同組合(坂内商店) ☎0241-54-2123
	溪流釣り解禁		館岩川及びその支流	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
4月8日(日)	檜枝岐川釣り解禁	檜枝岐村	檜枝岐川	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
4月8日(日)	福寿草まつり	南郷地域	中小屋地区	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-64-5811
4月中旬	前沢ふるさと公園・資料館オープン	館岩地域	前沢集落	前沢景観保存会 ☎0241-72-8977
4月26日(木)~30日(月・祝)	大林ふるさとの山カタクリ・さくらまつり	三島町	大林ふるさとの山	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
4月28日(土)	金山町妖精美術館オープン	金山町	金山町妖精美術館	金山町妖精美術館 ☎0241-55-3180
	沼沢湖畔キャンプ場オープン		沼沢湖畔キャンプ場	道の駅奥会津かねやま ☎0241-55-5334 (オープン前) 金山町自然休養村センター ☎0241-55-3140 (オープン後)
	ミニ尾瀬公園オープン		檜枝岐村	ミニ尾瀬公園
4月29日(日・祝)	久保田三十三観音まつり	柳津町	久保田地区観音山	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
	良寛和尚供養祭		つきみが丘町民センター	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114
5月上旬	長卸山 山開き	館岩地域	木賊温泉広瀬の湯前	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
5月1日(火)	青少年旅行村オープン	只見町		株式会社社会津だみ振興公社 ☎0241-83-1733
5月4日(金・祝)	博士山水芭蕉まつり	昭和村	水芭蕉としらかばの杜	昭和村観光協会 ☎0241-57-3700
5月5日(土・祝)	鬼子母神例大祭	三島町	西隆寺	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
	喰丸小オープニング記念イベント	昭和村	喰丸小(昭和村大字喰丸字宮前地内)	昭和村産業建設課 ☎0241-57-2124
5月12日(土)	桐の里ウォーク	三島町	三島町内	三島町教育委員会 ☎0241-48-5599
	愛宕神祭礼奉納歌舞伎	檜枝岐村	歌舞伎の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月13日(日)	飯谷山 山開き	柳津町	飯谷山登山口	柳津町B & G 海洋センター ☎0241-42-2246
	要害山 山開き	只見町	J R只見駅前	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
5月19日(土)~6月3日(日)	第4回山人・春まつり	檜枝岐村	檜枝岐村内旅館・民宿	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月20日(日)	博士山 山開き	柳津町	博士山麓登山口駐車場	柳津町B & G 海洋センター ☎0241-42-2246
5月22日(火)	前沢薬師堂まつり	館岩地域	前沢集落	前沢景観保存会 ☎0241-72-8977
5月24日(木)	尾瀬 山開き	檜枝岐村	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月26日(土)	御前ヶ岳登山	昭和村	昭和村大字大芦字畑小屋地内	昭和村観光協会 ☎0241-57-3700
	尾白山 山開き	伊南地域	南会津森林組合伊南支所前受付(宮沢登山口)	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
5月27日(日)	大嵐山・湯ノ倉山 山開き	館岩地域	湯ノ花温泉交流センター	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
5月下旬	・河井継之助記念館 ・歳時記会館オープン	只見町		株式会社社会津だみ振興公社 ☎0241-83-1733
5月下旬~6月末	高畑スキー場わらび園オープン	伊南地域	高畑スキー場	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：3月12日発行(年6回発行)事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
<http://www.okuaizu.net> 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。